

# 平成29年度 神戸大学法学部編入学試験問題

平成28年10月15日実施

## 論文（法学概論）

### 第1問

法の欠缺（けんけつ）とはどういうことか、裁判官は、法の欠缺がある場合、どのようにして紛争解決に必要な裁判を下すにあたり準拠すべき実体的基準を発見すべきか、説明しなさい。

### 第2問

フランス民法1134条は「法に従って形成された合意は、これをした者に対して、法に代わる効力を有する。合意は、これをした両者の合意または法が認める原因がある場合を除き、これを覆すことができない。」と規定している。この条文の意味を説明しなさい（なお、説明にあたって、契約、要式行為、意思無能力、行為無能力、無権代理、錯誤、詐欺・強迫、無効、取消し、任意規定、強行規定、公の秩序または善良の風俗、合意解除、の各用語を用いること）。